

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-15	高等学校	公民科	政治・経済	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	政経 310	高等学校 新政治・経済		

1. 編修の趣旨及び留意点

高度で複雑な政治・経済の内容を基礎的・基本的な内容に精選するとともに、時事的な題材を積極的に教材化することで、現代の政治・経済・国際関係などに関する諸問題について、広い視野に立って公正かつ客観的な見方や考え方ができるように工夫した。また、客観的な認識と公正な判断力に基づいて、健全な批判力を身につけ、主体的に生きる公民としての能力・態度が形成できるように配慮した。さらに、各課題を探究し、その結果導き出された自らの考え方を適切に表現する能力や態度を身につけられるように留意した。

2. 編修の基本方針

本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

1. 政治・経済における基本的な概念や理論を理解させるとともに、現代の政治・経済の動向を多面的・多角的に考察できるようにした。
2. 政治や経済について考察した過程や結果について、適切に表現する能力と態度を身につけられるように配慮した。
3. 第1・2編のはじめには、イラストを取り入れた「人と政治とのかかわり」「人と経済とのかかわり」を導入としておき、興味・関心をもって政治・経済の学習に取り組めるように配慮した。また、第1編、第2編の各節(見開きページ)の横欄には「ポイント」を設けて、学習内容の着眼点を明確にできるようにした。
4. 具体的事例を丁寧に見開きページで扱った「FILE」、本文の随所に難解な内容をわかりやすく解説した「ワンポイント・ゼミ」、現代のかつ具体的な資料を扱った「CATCH」を設けて、政治・経済への理解がいっそう深まるようにした。
5. 各ページには必ず図・写真・資料を設け、原則として解説文をつけるなど、生徒の学習意欲がさらに高まるように表現方法を工夫した。
6. 第3編は、第1・2編で学習した内容と関連させながら、現代の諸課題について2つの対照的な視点を示し、望ましい解決のあり方を考察できるようにした。さらに、「探究課題例」を設け、課題を探究することを通して、言語活動の充実を図ることができるようにした。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と 日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・編扉や見開きページの冒頭で、広い視野に立って政治を学習できるように配慮することで、幅広い知識と教養を身につけられるように工夫した(第1号)。 ・日本国憲法における国民の権利と義務を十分に理解させることによって、個人の価値の尊重や勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号)。 ・日本国憲法の諸条項は丁寧に扱い、特に男女の平等についてはさまざまな法令によって推進されていることが理解できるようにした。また、主権者である国民のあり方として、公共の精神に基づき、主体的な社会の形成に参画すべきことを説いた(第3号)。 	<p>p. 4 ~ 6</p> <p>p.24 ~ 29</p> <p>p.24, 30, 46, 47</p>
第1編 現代の政治 第2章 現代の国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・国際紛争の諸要因や紛争・対立の事例、国際紛争の解決に向けた取り組みを丁寧に取り上げるとともに、紛争は基本的人権にかかわる問題であることに触れた(第2号・第3号)。 ・日本の領土をめぐる問題を取り上げることによって、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした(第5号)。 ・第1編の最後に、新しい国際秩序構築のための国際社会に対する日本の役割を取り上げ、日本は積極的に国際貢献を果た 	<p>p.48, 49, 56 ~ 59</p> <p>p.50, 51</p> <p>p.62, 63</p>

	すべきことを明記した(第3号・第5号)。	
第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質	<ul style="list-style-type: none"> ・編扉や見開きページの冒頭で、広い視野に立って経済を学習できるように配慮することで、幅広い知識と教養を身につけられるように工夫した(第1号)。 ・企業には利潤の追求のほかにも、企業統治の実現や社会的責任を積極的に果たし、環境保全や社会貢献などを行うことも求められていることを示すことで、職業生活においても、正義と責任を重んじ、環境保全や文化の尊重などに積極的に関与する態度を養えるようにした(第3号・第4号・第5号)。 ・労働法制や社会保障制度を丁寧に上げるとともに、非正社員の問題、女性の労働環境、高齢社会における諸問題を深く理解できるようにすることで、個人の価値の尊重や男女の平等、自他の敬愛と協力、職業及び勤労を重んずる態度を養えるようにした(第2号・第3号)。 ・公害や地球環境問題の事例を丁寧に扱うとともに、環境保全のための国際的な取り組みや、循環型社会に向けた取り組みを上げて、持続可能な社会を形成する必要性を説いた(第4号)。 	<p>p.64～66</p> <p>p.70, 71</p> <p>p.98～101</p> <p>p.106～109</p>
第2編 現代の経済 第2章 国民経済と国際経済	<ul style="list-style-type: none"> ・第2編の最後に、経済大国として国際貢献が求められている日本が、ODAなどを通じて国際社会に果たす役割が大きいことを理解できるようにすることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮した(第5号)。 	p.123
第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題は、政治と経済、国内問題と国際問題が密接に結びついていることを考慮した上で、第3編を通してさまざまな具体的な問題を解決するために、幅広い知識と教養を身につけて、取り組む態度を養えるようにした(第1号)。 ・住民生活に地方自治が深くかかわっていることを理解させた上で、市民として地域を支えていくにはどのような取り組みが求められるかを考える必要があることを示した(第3号)。 ・今日の労働問題を考察し、これからの労使関係と労働市場のあるべき姿を模索することができるようにした(第2号)。 ・日本には伝統的な地場産業が多くあることを、写真などの具体的事例を上げて理解できるようにした(第5号)。 	<p>p.128～145</p> <p>p.130, 131</p> <p>p.132, 133</p> <p>p.134, 135</p>
第3編 現代社会の諸課題 第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題については、先進国と発展途上国で考えが異なることを理解させた上で、公共の精神に基づいて、主体的に社会の形成に参画することによって、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮した(第3号・第4号・第5号)。 ・人種・民族問題は基本的人権にかかわる宗教や生き方の問題であることに触れた(第3号)。 ・国際社会において日本が果たすべき役割について、国益の追求と人類共通の利益の追求といった観点からそれぞれ考察できるようにするとともに、私たちもまた地球市民の一員として、国際平和と人類の福祉の実現に向けて何ができるかを考え、行動する必要性があることを強調した(第5号)。 	<p>p.138, 139</p> <p>p.142～143</p> <p>p.144～145</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、私たちの暮らす社会におけるさまざまな法令を実感できるよう、巻末資料として日本国憲法や労働基準法をはじめとする各種法令等を紹介した。
- ・政治・経済の歴史的背景が理解できるように、巻末に「第二次世界大戦後の歴代内閣の歩み」を設けた。
- ・読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身につくよう配慮した。

編 修 趣 意 書

（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-15	高等学校	公民科	政治・経済	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	政経 310	高等学校 新政治・経済		

1. 編修上特に意を用いた点や特色
<p>1. 現代の日本の政治や国際政治の動向について、広い視野に立って、公正かつ客観的に考えさせながら、政治についての基本的な見方や考え方を養えるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権が確立されてきた歴史的経緯をふまえて、法の支配は民主政治に不可欠な原理であることを理解できるようにするとともに、諸外国の政治制度を比較するなど、広い視野に立って、民主政治を考察できるように配慮した。 ・ 日本国憲法に対する理解が深まるように、基本原理である基本的人権の尊重、国民主権、恒久平和主義を丁寧に取り上げることによって、基本原理が国家の枠を越えた普遍性をもっていることを理解できるように配慮した。 ・ 国会、内閣、裁判所などの政治機構や、住民自らの意思と責任の下で行われる地方自治制度は、基本的な事項を概観するとともに、裁判員制度や直接民主制の学習を通して、国民の司法参加や政治参加の意義について理解できるように配慮した。 ・ 主権者としての政治参加のあり方については、客観的な資料をもとに、さまざまな視点から考察できるように配慮した。 ・ 国際法の基本的なしくみや、国際連合をはじめとする国際機関の役割については丁寧に解説し、人権、国民主権、領土などについて考察できるように工夫した。 ・ 冷戦後の国際政治の動向について把握できるようにするとともに、国際紛争はさまざまな要因によって引き起こされていることを理解できるようにした。 ・ 軍縮や核廃絶などに関する国際的な取り組みを取り上げ、国際社会における日本の役割について考察できるように配慮した。 <p>2. 経済の基本的な概念や原理を理解させるとともに、経済についての基本的な見方や考え方を身につけられるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済と国民生活とのかかわりを取り上げ、経済の基本的な概念や経済理論について学習できるように配慮した。 ・ 経済活動の意義や国民経済における家計、企業、政府の役割について理解できるように配慮した。また、市場での価格のはたらしによって、経済的資源が適切に配分されることを理解できるように配慮しつつ、現実には最適な資源配分ができない場合があることに気づくよう工夫した。 ・ 財政が政府による経済活動であることを認識させながら、財政政策が国民福祉の向上に努めていることを理解できるように工夫した。また、国民生活における租税の意義と役割、国債発行の目的と問題点などを丁寧に解説した。 ・ 中央銀行の金融政策や金融機関の役割について理解できるように留意した。 ・ 国際収支や為替相場など、国際経済に関する基本的な概念や理論について学習させながら、今日の国際経済の特質が理解できるように配慮した。 ・ 国際経済の安定と成長のために、地域的経済統合などの国際的な協調が必要となっていることを理解できるようにした。また、最近の各国の協調についても丁寧に解説した。 ・ 先進国、発展途上国それぞれが直面している課題を取り上げるとともに、国際経済における日本の役割について考察できるように配慮した。 <p>3. 第3編は、第1編と第2編で学習した成果を生かし、この科目のまとめとしての性格をもたせるように配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代日本および国際社会の政治や経済の諸課題を、政治と経済とを関連させながら、多面的・多角的に探究し、持続可能な社会の形成に向けて望ましい解決のあり方を考察できるように配慮した。

・政治や経済について考察した過程や結果を適切に表現する能力と態度を育てることができるように、「探究課題例」を設け、言語活動の充実を図った。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 現代の政治			
人と政治とのかかわり		p.4～5	1
第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法			
政治とは何だろうか？		p.6～7	
民主政治の展開		p.8～9	1
人権保障の発達		p.10～11	1
議会制民主主義と政治の特質		p.12～13	1
日本国憲法の成立		p.14～15	1
日本国憲法の基本原則		p.16～17	1
平和主義と自衛隊		p.18～19	1
日本の安全保障		p.20～21	1
安全保障と日本の防衛	(1) 現代の政治	p.22～23	1
法の下での平等と自由権	ア 民主政治の基本原則と日本国憲法	p.24～25	1
豊かに生きる権利		p.26～27	1
新しい人権		p.28～29	1
国会の組織と機能		p.30～31	1
国会の権限と衆議院の優越		p.32～33	1
内閣の機構と機能		p.34～35	1
裁判所の機能と人権保障		p.36～37	1
FILE 裁判員制度		p.38～39	1
地方自治制度と住民の権利		p.40～41	1
政党政治と圧力団体		p.42～43	1
日本の選挙制度とその課題		p.44～45	1
世論と現代政治の課題		p.46～47	1
第2章 現代の国際政治と日本			
国際社会と国際法		p.48～49	1
FILE 日本の領土をめぐる問題		p.50～51	1
国際連合の役割と国際協力	(1) 現代の政治	p.52～53	1
第二次世界大戦後の国際社会	イ 現代の国際政治	p.54～55	1
今日の国際社会		p.56～57	1
国際政治の特質と国際紛争の諸要因		p.58～59	1
核兵器の廃絶と軍縮問題		p.60～61	1
国際平和と日本の役割		p.62～63	1
第2編 現代の経済			
人と経済とのかかわり		p.64～65	1
第1章 現代経済のしくみと特質			
資本主義経済のしくみとは？		p.66～67	
資本主義経済の課題と社会主義経済の変容		p.68～69	1
経済主体と経済活動	(2) 現代の経済	p.70～71	1
市場経済の機能と限界	ア 現代経済の仕組みと特質	p.72～73	1
景気変動と経済成長		p.74～75	1
インフレーションとデフレーション		p.76～77	1
財政のしくみとはたらき		p.78～79	1
租税と国債		p.80～81	1
資金の循環と金融市場		p.82～83	1

日本銀行と金融政策		p.84～85	1
日本経済の発展		p.86～87	1
今日の日本経済		p.88～89	1
FILE 日本経済の歩み		p.90～91	1
中小企業と農業		p.92～93	1
消費者問題		p.94～95	1
高度情報社会		p.96～97	1
労働関係の改善		p.98～99	1
FILE 今日の労働問題		p.100～101	1
社会保障制度の充実		p.102～103	1
FILE 私たちの生活と少子高齢社会		p.104～105	1
公害防止と環境保全		p.106～107	1
地球環境問題		p.108～109	1
第2章 国民経済と国際経済			
国際経済のしくみと現状		p.110～111	1
為替相場のしくみ		p.112～113	1
国際協調と国際経済機関の役割	(2)現代の経済	p.114～115	1
地域的経済統合の動き	イ 国民経済と国際経済	p.116～117	1
経済摩擦問題とグローバル化		p.118～119	1
FILE 自由貿易地域の拡大		p.120～121	1
国際経済の諸問題と日本の役割		p.122～123	1
第3編 現代社会の諸課題			
スキルアップ 課題探究学習の方法	(3)現代社会の諸課題	p.124～127	1
第1章 現代日本の政治や経済の諸課題			
少子高齢社会と社会保障	(3)現代社会の諸課題	p.128～129	いくつか を選択3
地域社会の変貌と住民生活	ア 現代日本の政治や 経済の諸課題	p.130～131	
雇用と労働をめぐる問題		p.132～133	
中小企業問題		p.134～135	
農業と食料問題		p.136～137	
第2章 国際社会の政治や経済の諸課題			
地球環境と資源・エネルギー問題	(3)現代社会の諸課題	p.138～139	いくつか を選択2
国際経済格差の是正	イ 国際社会の政治や 経済の諸課題	p.140～141	
人種・民族問題と地域紛争		p.142～143	
国際社会における日本の立場と役割		p.144～145	
		計	64